

2026年8月31日

各 位

株式会社 紀陽銀行

株式会社万葉美装向け 「紀陽ポジティブ・インパクト・ファイナンス」の実行について

株式会社紀陽銀行（頭取：原口 裕之）は、株式会社万葉美装（代表取締役社長：松下 裕彦、以下、同社）に対し、「紀陽ポジティブ・インパクト・ファイナンス（以下、本商品）」を実行しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本商品は、お客さまの企業活動が環境・社会・経済に及ぼすポジティブならびにネガティブな影響を分析・評価し、プラスの影響（ポジティブ・インパクト）の拡大とマイナスの影響（ネガティブ・インパクト）の抑制に向けた取り組みを支援する商品です。同社は、ポジティブ・インパクトを拡大するテーマおよびネガティブ・インパクトを抑制するテーマを特定し、それぞれ目標とKPIを設定しました。当行は、定期的にお客さまが設定したKPIの達成状況を確認し、サステナビリティ経営の高度化に向け支援します。

紀陽銀行は、今後も地域の事業者の皆さまのSDGs達成に向けた取り組みを支援することで、地域経済の持続的な成長に貢献してまいります。

記

1. 本件概要

借入人	会 社 名	株式会社万葉美装
	所 在 地	奈良県橿原市豊田町113-3
	代 表 者	松下 裕彦
	設 立	1999年12月
	事業内容	①タイル下地処理・目荒らし（超高压洗浄）、②外壁塗膜剥離（ケレン）、③建築物の竣工引き渡しクリーニング、④建築物の養生及び片付け工事、⑤揚重・搬送工事、⑥RC化粧補修工事、⑦不動産取引業、⑧飲食業
実 行 日		2026年8月31日
融 資 金 額		80百万円
期 間		5年

2. 同社が事業を通じて特定したインパクト

ポジティブ・インパクトの拡大	- 積極的な提案型営業の拡大による販路開拓 - 従業員の雇用環境整備及び育成支援
ネガティブ・インパクトの抑制	- 環境負荷軽減に向けた取り組みの推進 - 従業員の雇用環境整備及び育成支援

・本件は、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が制定する「ポジティブインパクト金融原則（PIF原則）」への適合性について、株式会社格付投資情報センター（R&I）よりセカンドオピニオンを取得しております。

以 上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール8「働きがいも経済成長も」、ゴール9「産業と技術革新の基盤をつくろう」、ゴール12「つくる責任つかう責任」、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。

